

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめキッズ大東		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	開所当時から継続勤務の指導員が多く、経験を積み重ねた指導員による療育が出来る事。	アプリを使用することにより、保護者様の要望や変更連絡などを即座に全職員が知れるシステムを取り入れています。	担当者会議に積極的に参加したり、相談支援や学校、他のデイサービスと連携をとるようすることで、事業所での一面と違う面を知りより細やかな支援となるように取り組んでいます。
2	柔道有段者による柔道の指導、保健体育教員免許取得者によるサッカー、バスケットボール、体幹トレーニングやサーキットトレーニング等の運動療育、華道と茶道の師範代によるプログラムなど、専門の知識を持った人材によるプログラムの療育が出来る事。	6ヶ月迄の個別支援計画更新を待つことなく、お母様の困りごとや学校での変化の都度で支援計画を更新しています。	子供たちの変化に全職員が把握できるようにネットワークで繋がっており、同じ方向を向いた支援を心掛けています。
3	通所ごとに多彩なプログラムを提供し、家庭や学校では出来ない経験をしてもらえるように取り組んでいること。	毎日違ったプログラムを設定しており、様々な経験を積むことで出来ることが増え、得意を見つ出して伸ばすことが出来ます。	今のプログラムに組み込むことが出来ることはないか、子どもたちに必要なことは何か、新しく出来た場所はないか等常に新しい情報を掴もうとしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	に常に新しい情報を掴もうとしています。
1	強度行動障害の専門知識をもった指導員が少ない。	事業所として受け身な体制であり、希望者を募ったり、スキルアップの声掛けをせずにいたこと、そういった資格について情報発信をする事が少なく、知らない職員もいたため	強度行動障害の専門知識をもった指導員を増やしてゆく為に研修を受けてもらえるように声掛けを行い、希望者に研修を受けてもらえるように配慮し、改善してゆきたい。
2			
3			